



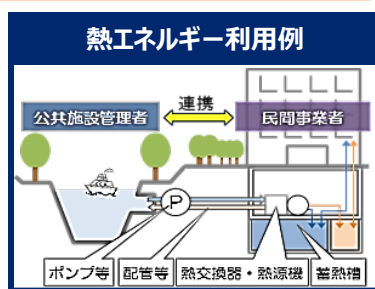
## 《申請受付中》 分散型エネルギーを面的に利用する 先導的な地産地消型システムの構築を支援します

～地産地消型再生可能エネルギー面的利用等推進事業費補助金～

一般社団法人新エネルギー導入促進協議会では、民間事業者や地方公共団体等が、地域の実情に根ざした地産地消のエネルギーシステムの構築を進めるために実施する事業化可能性調査及び事業計画策定に必要な費用を補助する「**地産地消型再生可能エネルギー面的利用等推進事業費補助金**」の申請を受け付けております。

### I. 事業化可能性調査

地産地消型エネルギーシステムの設置等を伴う事業を行う事業者と、主たるエネルギー事業者が、地産地消型エネルギーシステムの設置等を伴う事業の構築にかかる経済性評価(投資回収効率、費用対効果)を行うための調査に必要な費用を補助。



### II. 事業計画策定支援

地産地消型エネルギーシステムの設置等を伴う事業を行う事業者、事業実施場所の地方公共団体、主たるエネルギー事業者の三者が共同で、地産地消型のエネルギーシステムの設置等を伴う事業を平成28年度以降に実施することを前提として、詳細な事業計画の策定に必要な費用を補助。

- ①公募期間: 3月30日(月)～8月3日(月)12時(必着)  
※一次締切: 5月11日(月) 12時(必着)、二次締切: 6月22日(月) 12時(必着)
- ②対象経費: 労務費、旅費、委員会開催費、外注費
- ③補助金上限額: I. 事業化可能性調査 1,000万円  
II. 事業計画策定 3,000万円
- ④補助率: I・IIともに定額
- ⑤公募URL: [http://www.nepc.or.jp/topics/2015/0330\\_3.html](http://www.nepc.or.jp/topics/2015/0330_3.html)
- ⑥問合せ先: (一社)新エネルギー導入促進協議会 スマートコミュニティセンター  
構想普及支援事業担当 FAX:03-3984-8015 ※電話・メール不可

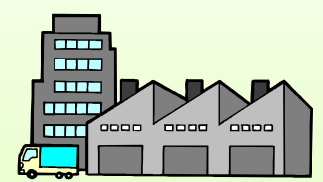
<担当: 資源エネルギー環境課>

## 工場・ビル向け「無料省エネ・節電診断」

一般財団法人省エネルギーセンターでは、工場やビルを対象として専門家が現地を訪問し、燃料や熱などのエネルギー利用や節電などの省エネ行動をサポートする「無料診断」や省エネルギーや節電をテーマとする説明会に講師を派遣する「無料講師派遣」を実施しております。

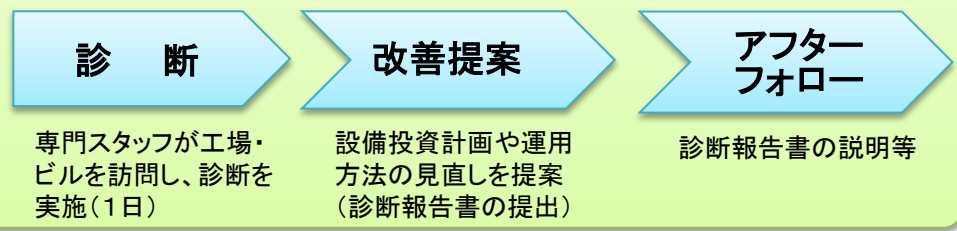
### ◆無料省エネ診断

- 【対象】
- ・中小企業
  - ・年間エネルギー使用量(原油換算値)が、100kL以上1,500kL未満の工場・ビル等の施設



### ◆無料節電診断

- 【対象】
- ・契約電力50kW以上の高圧電力または特別高圧電力契約者の工場・ビル等の施設



### ◆無料講師派遣

- 【対象】
- ・自治体や団体、教育機関等が開催する省エネ・節電説明会に、講師を無料で派遣



【お問い合わせ】  
(一財)省エネルギーセンター北海道支部  
TEL: 011-271-4028  
詳細は、以下の(一財)省エネルギーセンターURLをご覧ください。  
<http://www.shindan-net.jp/service/shindan.html>

北海道経済産業局の省エネキャラクター「エネちゃん」と「エネにゃん」

<担当: エネルギー対策課>

**置換換気システムや外気冷房システムの導入等による節電・省エネ**  
**<シチズンタ張株式会社（夕張市）>**

平成26年度北国の省エネ・新エネ大賞  
 (北海道経済産業局長表彰) 受賞

**概要**

空調設備の高稼働による製造ラインの環境維持が必要であることから、空調設備に係るエネルギー使用量が工場全体の約50%を占める状況。このため、空調設備に置換換気システムと外気冷房システムを導入したほか、コンプレッサの廃熱利用の導入等を実施し、大幅な省エネに成功。

**削減手法**

- ①置換換気システムにより、工場下部に設けた給気口から給気し、自然対流を利用して工場上部から排気することで、効率的に空調を行う。冬場は工場上部に滞留している暖気を取り込み、再度工場下部から給気することで、空調効率の向上とエネルギー使用量を削減。
- ②外気冷房システムにより、朝晩の冷涼な外気を取り入れることで、夏季の空調負荷を低減し、電力使用量を削減。
- ③コンプレッサの廃熱を回収し、執務室の暖房に利用することで、冬季の空調負荷を低減し、エネルギー使用量を削減。



節電・省エネ効果		事業費総額：約4,600万円		
	エネルギー使用量 (原油換算k)	電力使用量 (千kWh)	最大使用電力 (kW)	
取組前	2,014	7,637	1,123	
取組後	1,954	7,364	1,039	
削減率	3.0%	3.6%	7.5%	

節電・省エネの取組みをご検討の方は、以下の『事例集』をご覧ください。



北海道経済産業局では、北海道内の企業・団体等が節電・省エネに取り組み、成果を上げている事例をウェブサイト上で紹介しています。  
 詳細は、以下の当局URLをご覧ください。  
<http://www.hkd.meti.go.jp/hokne/setsuden/index.htm>  
 「省エネ 虎の巻」で検索ください。

<担当：エネルギー対策課>

**「地球にやさしい！家電リサイクルプラント見学ツアー」**  
 ～使わなくなった家電のゆくえ、見に行きませんか～  
**を開催しました**

経済産業省北海道経済産業局と環境省北海道地方環境事務所では、家電リサイクルについて広くご理解いただくため、平成27年2月26日(木)に家電リサイクルプラント見学ツアーを開催しました。  
 参加者へのアンケート調査では、全ての参加者から家電のリサイクルについて、「よく理解できた」、「理解できた」との回答がありました。今後も、このような取組を通して、リサイクル制度の必要性や重要性について、普及促進を図って参ります。

**開催状況**

本ツアーでは、使用済み家電の解体・選別処理などを行っている北海道エコリサイクルシステムズ株式会社の協力の下、家電リサイクルプラント工場での処理工程を見学いただきました。  
 また、当局から家電リサイクル制度の仕組みや不法投棄などについて紹介したほか、家電製品メーカーなどから家電リサイクルの管理・運用や家電メーカーの取組などについて紹介しました。



**当日の様子**

当日は、使用済み家電の排出者である消費者など15名の参加者が、家電リサイクルプラント工場での処理工程を見学し、施設の説明に対して熱心に耳を傾ける姿が見られました。  
 参加者からは、「意識して家電のリサイクルに取り組みたいと思った」、「リサイクル料金が適正であることに納得できた」などの声のほか、「見学ツアーがあったら、次回も参加したい」といった声が聞かれました。

貴重な家電リサイクルプラント工場内の見学をさせていただき、とても勉強になった。

もっと多くの方々に家電リサイクルプラント工場を見学してほしい。



**当日のプログラム**

- 12:50 札幌第1合同庁舎1F南側ロビー 集合
- 13:00 札幌第1合同庁舎 出発
- 14:15 北海道エコリサイクルシステムズ株式会社 到着
- (1)家電リサイクル法の概要について
- (2)リサイクルプラントの概要について
- (3)メーカーの取組について
- (4)家電リサイクルプラント工場見学
- 15:45 北海道エコリサイクルシステムズ株式会社 出発
- 17:00 札幌第1合同庁舎 到着・解散



<担当：環境・リサイクル課>